

平成30年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

事業報告書

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

公益財団法人荒川区自治総合研究所



# I 庶務事項

## 1 役員等の異動

年月日	役職	氏名	適用
平成30年5月24日	理事	西川 太一郎	再任
平成30年5月24日	理事	藁谷 友紀	再任
平成30年5月24日	理事	猪狩 廣美	再任
平成30年5月24日	監事	利根川 弘衛	再任
平成30年5月24日	監事	笹島 健司	再任
平成30年9月12日	評議員	山岡 景仁	死亡
平成31年2月14日	評議員	伊澤 英敏	就任

平成30年5月24日の理事会において、西川理事及び藁谷理事が代表理事に選任されるとともに、西川理事が理事長、藁谷理事が副理事長に選任された。

評議員1名の死亡ならびに1名の就任については、東京都へ報告した。

## 2 理事会の開催

回	開催等月日	決議及び報告事項
第1回	平成30年 5月9日	議決事項 1 平成29年度事業報告について決定する 2 平成29年度収支決算について決定する 3 平成30年度第1回評議員会の招集について決定する
第2回	平成30年 5月24日 (決議の省略)	議決事項 1 理事 西川太一郎氏を代表理事に選任するとともに理事長とする 2 理事 藁谷友紀氏を代表理事に選任するとともに副理事長とする

第3回	平成31年 1月17日 (決議の省略)	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 伊澤英敏氏を評議員選定委員会に推薦する評議員候補者として決定する</li> <li>2 評議員選定委員会に諮問する議案を文書の持ち回りによって決定する</li> </ol>
第4回	平成31年 3月1日	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成31年度事業計画について決定する</li> <li>2 平成31年度収支予算について決定する</li> <li>3 平成31年度における資金調達及び設備投資について決定する</li> <li>4 平成30年度第2回評議員会の招集について決定する</li> </ol>
		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度荒川区自治総合研究所の活動状況について中間報告する</li> </ol>

### 3 評議員会の開催

回	開催月日	決議及び報告事項
第1回	平成30年 5月24日	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成29年度収支決算について承認する</li> <li>2 西川太一郎氏を理事に選任する</li> <li>3 藁谷友紀氏を理事に選任する</li> <li>4 猪狩廣美氏を理事に選任する</li> <li>5 利根川弘衛氏を監事に選任する</li> <li>6 笹島健司氏を監事に選任する</li> </ol>
		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成29年度の事業について報告する</li> </ol>
第2回	平成31年 3月12日	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成31年度事業計画について承認する</li> <li>2 平成31年度収支予算について承認する</li> </ol>
		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度の活動状況について中間報告する</li> </ol>

## Ⅱ 事業実施の状況

### 1 調査研究・政策形成支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

#### （1） 荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究

##### ① 趣旨

- ・ 「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、荒川区民総幸福度（以下「GAH」という。）に関する調査研究を行った。GAHの研究については、荒川区民の幸福度を測る指標化の側面と、区民をはじめ荒川区に関わるすべての人や団体等が幸福について共に考え、地域の幸福のための活動につなげていく運動の側面を踏まえ取り組んだ。

##### ② 調査研究の概要

- ・ 区民の幸福実感を調べるため、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野のGAH指標を用いた第6回目の区民アンケート調査（以下「GAH調査」という。）を実施した。また、平成25年度から平成29年度に実施したGAH調査の結果について、GAHワーキング・グループにより、分析を進め、調査報告書を作成し、区へ提出した。

#### （2） 児童相談所の開設を契機とした研究

- ・ 令和2年度の児童相談所の開設に向けて、行政と接点が少なく「困難な状況にある」と考えられる荒川区の中学校卒業以降の子ども・若者の実態を把握することを目的として研究を行った。調査方法としては、国や東京都、他自治体が行っている調査の統計データを整理し、荒川区の現状と比較し、区内の問題状況の特徴について分析を行った。また、区内の支援機関や団体、当事者へのヒアリング調査を行い、困難のありようについて分析を行った。

#### （3） 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）運営支援

- ・ 参加自治体の首長及び職員が、相互に施策等に関する意見交換等を行うことを通じて、住民サービスの一層の充実と幸福度の向上を図ることを目的とする「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」の事務局として、区と共同で運営に携った。
- ・ 参加自治体数 99（平成31年3月現在）
- ・ 幸せリーグの活動は、主に各自治体の首長による、会全体の運営に関する事項を議論する総会と、実務担当者による、情報共有・研究等を行う実務者会議、さらに講演や各自治体の取り組み事例を紹介するシンポジウムを開催した。

- ・ 総会においては、決算の決議、役員の変更、実務者会議の研究成果中間報告、中小企業庁長官 安藤久佳氏による講演を行った。
- ・ 実務者会議では、幸福度に関する取り組みのほか、地方創生や子育て支援、少子高齢化対策などのテーマごとに6つのグループを構成し、議論を進めた。集合しての会議の開催に加え、日常的に電子メール等を活用しながら情報共有、意見交換を行った。

## 2 人材育成事業（定款第4条第1項第2号事業）

### （1） 区職員の研究員配置

- ・ 研究員として研究所に派遣された区職員3名については、非常勤研究員とともに研究活動に従事することにより、調査研究のノウハウを培うとともに、政策形成能力など職員の総合的な能力の向上に努めた。

### （2） 荒川区職員ビジネスカレッジとの連携講座

- ・ 区職員の問題意識の醸成や能力の向上等を図るため、荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）と連携講座を実施した。
  - 日 時 平成31年1月24日（木）午後6時
  - 場 所 荒川区役所3階 304・305会議室
  - 講 演 「荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハピネス：GAH）について」
  - 出席者 32名（荒川区職員ビジネスカレッジ受講生）
  - 内 容 GAHの概要の説明の後、研究所研究員と荒川区職員ビジネスカレッジ受講生がいくつかのグループに分かれ、GAHに関する質疑応答及び自分の仕事がどのように区民の幸福実感の向上につながっているかについての議論を行った。

### 3 情報収集・情報発信事業（定款第4条第1項第3号事業）

#### (1) 全国の自治体シンクタンクとの交流

- ・ 自治体シンクタンク研究交流会等への参加を通じて、荒川区民総幸福度（GAH）や幸せリーグ等の取り組みを広め、意見交換や情報共有を行った。

#### (2) 「荒川区民総幸福度（GAH）推進リーダー会議」の運営

- ・ 町会等の地域団体のリーダーである区民により構成されるGAH推進リーダー会議を開催し、研究所の研究成果等について情報提供を行うとともに参加者による意見交換を実施した。
  - 日 時 平成31年2月1日（金）午後3時
  - 場 所 サンパール荒川 小ホール
  - 出席者 64名（うちGAH推進リーダー41名）
  - 内 容 GAHの概要の説明の後、いくつかのグループに分かれ、「住み慣れた地域で活躍するために」をテーマとし、意見交換を実施した。

#### (3) ニュースレター「RILAC NEWS」の発行

- ・ 研究所における調査研究活動の動向を掲載したニュースレターを発行し、区窓口や関係機関に配布し、周知した。

#### (4) ホームページの運営

- ・ 研究所の概要、研究テーマ紹介、発行物紹介、調査研究活動等の情報を幅広く区内外に発信した。
- ・ 幸せリーグ専用ホームページにおいて、掲示板などを活用しながら自治体間の交流を深めた。

#### (5) その他の情報発信

- ・ 荒川コミュニティカレッジ講座にて、区民を対象に研究所の取り組みやGAHについての講座及び自分の幸せと地域の幸せのつながりについて考えるワークショップを行った。
- ・ 他自治体、議会、研究機関、報道関係等の視察・取材対応を行った。
- ・ また、新聞社等が行うセミナーに講師として参加することで、区や研究所の取り組みをPRした。

○ 平成30年度実績

相手方別の件数内訳

行政	7件	マスコミ	8件
県議会、市議会等	12件	その他	4件
大学・研究機関	2件	計	33件

※平成21年10月から平成31年3月末までの実績は508件

○マスコミ記事等件数（RILAC設立からの累計）

	研究所	研究全般	本	GAH	貧困	親なき	他	掲載紙、番組等
新聞 73件	6 (1)		4	57	3	1	2	河北新報、新潟日報、秋田魁新報等
雑誌 43件	1	1	3	32 (1)	4		2	ガバナンス、生活協同組合研究、区政会館だより、こころの未来等
テレビ 21件	(2)	2		19				TOKYO MX、放送大学、NHKスペシャル等
ラジオ 5件				5				幸せなまちづくり啓発特別番組「幸せな国ブータン王国と天草のまちづくり」等
インターネット 5件				5				Yahoo ニュース等
掲載数 147件	7	3	7	118	7	1	4	

※（ ）内の数字は1つの団体(マスコミ等)から複数取材を受けた件数。

○講師等

- ・平成30年 4月 自民党政務調査会
- ・平成30年 10月 サンケイリビング新聞社：行政協働セミナー
- ・平成30年 10月 韓国：幸福実感地方政府協議会
- ・平成31年 2月 佐賀市役所「住民の幸福実感向上に関する研修会」

平成31年4月22日

## 監査報告書

公益財団法人荒川区自治総合研究所

理事長 西川 太一郎 様

公益財団法人荒川区自治総合研究所

監事 利根川弘衛 

監事 笹島健司 

私達は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条並びに公益財団法人荒川区自治総合研究所定款第9条に基づき、同財団の平成30年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

### 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査について、事務局長及び関係職員から実施事業の報告を聴取するとともに、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

### 2 監査結果

- (1) 財務諸表（貸借対照表・正味財産増減計算書）、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財産状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 理事の業務執行は適正であり、定款及び諸規程に違反する事実はないと認める。